

シート施工説明書

施工する前に

●ご用意いただくもの

・シート本体、専用ピン100mm、防草テープ、ハンマー、裁ちばさみ、軍手



土地についてご確認ください。

■施工しやすい土地かどうか。

- ・凹凸のある土地に施工する場合、その土地を均した上で施工して下さい。
- ・土壌の水はけが悪い事が想定される場合、必ず対策を講じてから施工してください。

■その他

- ・施工面に草が生えている場合、事前に除草作業を行って下さい。または、除草剤を撒くなどして草を除去して下さい。
- ・住宅敷地内では、必ず配管図をご確認いただき、ピンによる配管の破損にご注意下さい。
- ・その他埋設されている配線等へも十分お気をつけてください。
- ・強風時の施工は安全を鑑みて実施しないで下さい。
- ・シート敷設後すみやかに砂利を敷きこんで下さい。

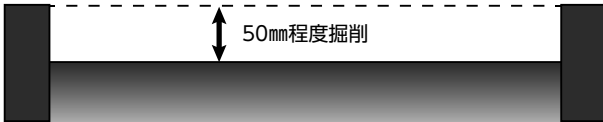
標準施工方法

1. 土地の掘削

(1) 砂利の厚み分、土地を掘削する。

シート敷設前に土地を砂利の厚み(50mm程度)分掘削します。

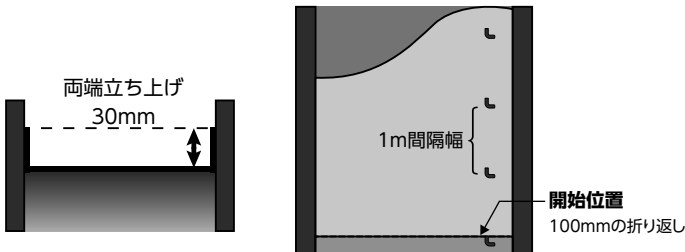
※土壌の水はけが悪い場合、水溜まりを避ける為に砂利の厚みを厚くして下さい。



2. シート敷設

(2) シートを敷きこみ、ピンで留めてください。

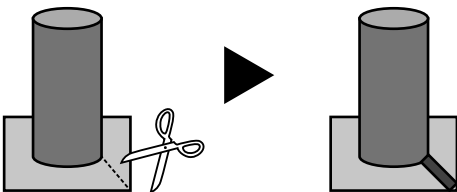
掘削した土地の上にシートを敷き、両端を3cm程度立ち上げて下さい。その後シートをピンで固定します。ピンのピッチは1m間隔で打ってください。



(3) シートをカットして配管周りを納める。

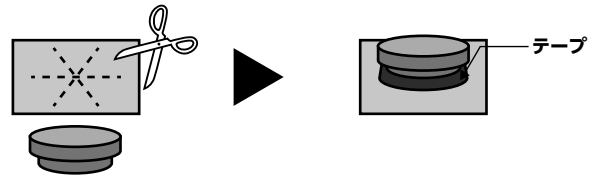
[雨どい]

シートに切り込みを入れ、雨どいの周りに這わせて納めます。入れた切り込みはテープでつなぎます。



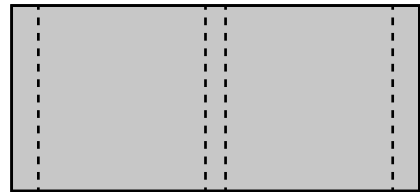
[配管廻り]

シートを配管の大きさ、形にカットし、納めます。その時配管とシート間の隙間は、適宜塞いでください。

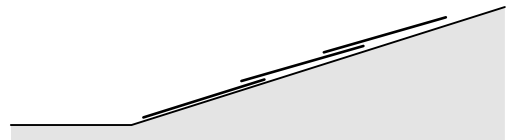


3. 重ね代

(4) 幅方向については、シートの点線同士以上の重ね代をとりピンで留めて下さい。



(5) 傾斜地へ施工する場合、シートは下から上に重ねてください。



4. 砂利敷きこみ

(6) シートの上に砂利を敷きこんで下さい。

シートを施工したら、その上に砂利を敷き詰め、シートが見えなくなるよう平らにならします。砂利の厚さは50mmを目安にして下さい。



人工芝での仕上げについて

(7) 人工芝を施工する場合、シート施工については、砂利の敷き込みまでを同様に施工し、仕上げの施工方法についてはメーカーの施工要領に従ってください。なお、その施工方法に付随した不具合につきましては、保証致して居りませんので、懸念事項がある場合は必ずご相談下さい。

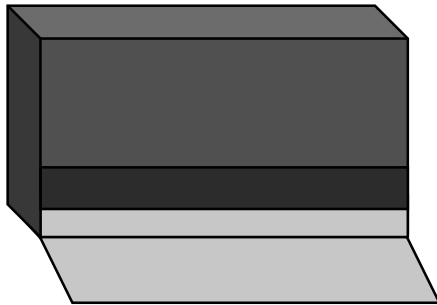
⚠裏面もご覧ください。

ワンポイントアドバイス

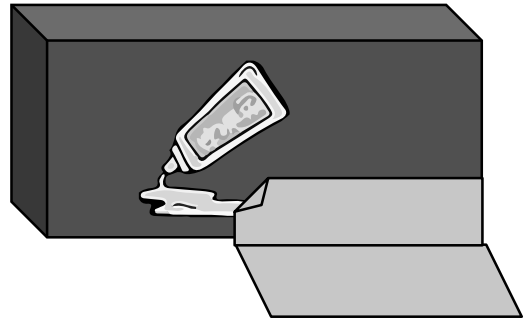
基礎コンクリートとの取り合い部

住宅基礎や隣地との境界部、コンクリートとの取り合いにつきましては、シートを立ち上げだけでなく、接着剤や専用テープによる目張りを施しておきますと防草効果がより高まります。

(1)テープによる施工



(2)接着剤による施工



施工後の留意点

施工中

■キズ、破れが発生した場合

■ 施工中にキズ、破れが着いた場合は、テープまたは重ね張りにより適宜補修してください。
また、薬品等の付着があった場合は、表面の状態をよくご確認の上、施工してください。

施工後

- 施工後、経過を観察し以下のような場合は、効果持続のためにメンテナンスをおこなってください。
 - ・ シート上の砂利に雑草の種子が飛来し、砂利上で芽を出すことがあります。その場合、速やかに除草してください。

安全のためにお守りください。



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



「してはならない」を示します

- 屋上やベランダなど風の強い場所への施工はできません。シートがめくれれたり、飛散する恐れがあります。
- 風の強いときに施工しないでください。
- 目的用途(防草シート)以外での使用はしないでください。

品質保証について

本製品は屋外にて使用頂く防草シートです。施工される地域や自然条件等が異なりますので、施工後の製品保証は致しません。

お願い

- 本説明書に掲載している施工方法で施工いたいただいても、自然条件等によりシートがめくれれたり、飛散する可能性がありますので定期的な確認が必要です。
- 本説明書に掲載している施工方法は、施工する場所により施工できない場合がありますので、施工や雑草防止を保証するものではありません。
- 植物によってはシートを突き破ったり、シート端部や重ね部から発芽することがあります。
- 製品保管時は直射日光、著しい湿気、荷重を避け室温未開封状態で保管してください。
- 本製品(防草シート)およびその施工部材(専用施工ピン・専用施工テープ)の廃棄について、事業者が廃棄する場合は産業廃棄物として、一般家庭で廃棄する場合はお住まいの自治体の区分に従い、適正に廃棄してください。